

<h1>校友会報 明倫</h1>	会員数 6,973 人 (2025.4.1 現在)
	発行 〒950-2086 新潟市西区真砂 3-16-10 明倫短期大学校友会
	TEL 025-232-6351 (代)
	FAX 025-232-6335
	URL: https://alumni.meirin-c.ac.jp/

令和 7 年度 明倫短期大学校友会総会開催

明倫短期大学校友会令和 7 年度定時総会が令和 7 年 6 月 29 日 (日)、ハイブリッド会議により、明倫短期大学において開催されました。

令和 7 年度 明倫短期大学校友会総会

日時 令和 7 年 6 月 29 日 (日) 11:00~12:30

会場 明倫短期大学 6 号館 4 階第 4 講堂

出席者 23 名 (内 Web 1 名), 委任状 67 名 計 90 名 (役員数 111 名中出席者 81%)

司会 副会長 平澤 明美

1. 開会 副会長 本間 和代
2. 会長挨拶 会長 関根 明
3. 理事長挨拶 学校法人明倫学園 理事長 渡邊 高志
4. 学長挨拶 明倫短期大学 学長 宮崎 秀夫
5. 議長選出 佐々木 聡
6. 議事

I. 報告事項

第 1 号議案 令和 6 年度 一般会務報告

令和 6 年度一般会務報告

会員数 6,921 名 (令和 6 年 4 月 1 日現在)

1. 総会

令和 6 年 8 月 15 日 (木) 定時総会 (書面決議)

2. 役員会

令和 6 年 5 月 31 日 (金) 第 1 回 常任理事会

令和6年6月27日(木) 第2回 常任理事会

令和6年8月15日(木) 第1回 理事会

令和7年1月16日(木) 第3回 常任理事会

3. 監査

令和7年5月22日(木) 監査会 明倫短期大学校友会事務所

4. 入会式

令和7年3月7日(金) 明倫短期大学卒業生

(令和7年4月1日入会予定者数:44名)

第2号議案 令和6年度 事業報告

令和6年度事業報告

1. ホームカミング

1) 講演会 「つながる命」

会 場 明倫短期大学

日 時 令和6年10月26日(土)

講 師 高野由美子 氏

2. 講習会・研修会(校友会後援)

1) やりがい再発見!! 選べる歯科技工プログラム2024

会 場 明倫短期大学

日 時 令和6年9月1日～令和7年1月12日(土・日)

講 師 明倫短期大学教員他

内 容 全部床義歯の咬合採得・ゴシックアーチ描記の診療見学とゴシックアーチ
描記装置製作の技工技術研修

介護保険施設等における歯科訪問診療の実地見学

明倫デジタル技工カレッジ. 歯科技工士のためのチェアーサイド研修

2) 歯科衛生士のための学び直し講座 中止

3. 学会(校友会後援)

明倫短期大学学会 第23回学術大会

日 時 令和6年12月7日(土)

会 場 明倫短期大学

内 容 一般発表:3題

4. 会報発行

会報「明倫」第23-1号・第23-2号発行 ホームページ掲載

5. 会員及び準会員活動支援

1) 明倫短期大学学生(準会員)クラブ活動支援

2) 明倫短期大学学生(準会員)明倫祭支援

6. その他

1) 明倫短期大学第28回入学式並びに専攻科入学式

日 時 令和6年4月8日(月)

関根 明 会長 出席

2) 明倫短期大学第27回卒業式並びに専攻科修了式

日 時 令和7年3月8日(土)

関根 明 会長 出席

II. 承認事項

第3号議案 令和6年度 総会議事録について

令和6年度 定時総会議事録(案)

1. 総 会

令和6年8月15日(木) 定時総会

書面決済 郵送件数 139名 回答数 賛成79名(56.8%), 反対0名

※ 書面決議により、承認を求める全議案について原案どおり承認された。

2. 議 事

I. 報告事項

第1号議案 令和5年度一般会務報告

第2号議案 令和5年度事業報告

II. 承認事項

第3号議案 令和5年度総会議事録について

III. 協議事項

第4号議案 令和5年度収支決算並びに財産目録の承認を求める件

第5号議案 令和6年度事業計画(案)の承認を求める件

第6号議案 令和6年度収支予算(案)の承認を求める件

第7号議案 令和6年度収支決算(案)並びに財産目録の承認を求める件

III. 協議事項

第4号議案 令和6年度 収支決算並びに財産目録の承認を求める件

令和6年度 収支決算書(案)

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

収入の部

(単位 円)

科 目	令和6年度予算	令和6年度決算	差 異	備 考
1 会 費 ・ 入 会 金	960,000	1,200,000	△ 240,000	令和6年度入会者60名 (令和6年3月卒業)
会 費	480,000	600,000	△ 120,000	
入 会 費	480,000	600,000	△ 120,000	
2 雑 収 入	50	254	△ 204	普通預金利息
当期収入合計(A)	960,050	1,200,254	△ 240,204	
前期繰越金	750,732	750,732	0	
収 入 合 計 (B)	1,710,782	1,950,986	△ 240,204	

支出の部

(単位 円)

科 目	令和6年度予算	令和6年度決算	差 異	備 考
1 事 業 費	415,000	57,306	357,694	
広 報 費	15,000	2,057	12,943	会長名刺印刷代
組 織 強 化 費	10,000	0	10,000	
準 会 員 支 援 費	10,000	0	10,000	
記 念 品 代	60,000	28,300	31,700	卒業記念品
生 涯 研 修 支 援 費	10,000	5,000	5,000	
ホームカミング事業費	310,000	21,949	288,051	講演会講師代
2 会 議 費	225,000	7,000	218,000	
総 会 費	200,000	0	200,000	
役 員 会 費	25,000	7,000	18,000	常任理事会交通費
3 事 務 費	253,000	67,404	185,596	
通 信 費	100,000	11,544	88,456	送料
会 員 調 査 費	3,000	0	3,000	
消 耗 品 費	100,000	25,260	74,740	コピー代、消耗品等
事 務 人 件 費	50,000	30,600	19,400	監査日当
4 渉 外 費	150,000	74,970	75,030	
慶 弔 費	150,000	74,970	75,030	入学・卒業式生花等
5 管 理 費	50,000	50,000	0	校友会事務所借用費
6 雑 費	5,000	880	4,120	郵便局手数料
7 積 立 金	700,000	700,000	0	
8 寄 付 金	0	0	0	
9 予 備 費	152,782	0	152,782	
支 出 合 計	1,950,782	957,560	993,222	
当期支出合計(C)	1,950,782	957,560	993,222	
当期収支差額(A)－(C)		242,694		
次期繰越金(B)－(C)	-240,000	993,426		

財 産 目 録

令和7年3月31日
明倫短期大学校友会
(単位：円)

1 財 産		
第 四 北 越 銀 行 小 針 支 店		
定期預金	口座番号 (49259)	4,002,482
ゆうちょ銀行		
普通預金	口座番号 (34246451)	993,426
定期貯金		700,000

会計責任者 江川 広子



監 査 報 告 書

明倫短期大学校友会
会長 関根 明 殿

明倫短期大学校友会令和 6 年度決算各項について監査を行った結果、
正確かつ適正なることを認めます。

令和 7 年 5 月 22 日

監事 吉後美明



監事 八木 虎美



第5号議案 令和7年度 事業計画(案)の承認を求める件

令和7年度 事業計画(案)

1. 総会

令和7年6月29日(日) 定時総会

(ハイブリッド会議: 対面会議+Web会議)

2. 役員会

令和7年4月23日(水) 第1回 常任理事会

令和7年6月12日(木) 第2回 常任理事会

令和7年6月29日(日) 第1回 理事会

令和8年1月15日(木) 第3回 常任理事会

3. 監査

令和8年5月(予定) 監査会(年1回) 明倫短期大学校友会事務所

4. 入会式

令和8年3月6日(金) 明倫短期大学卒業生

5. ホームカミング(会場: 明倫短期大学)

1) 講演会

日時 令和7年11月24日(月・振) 11:00~12:00

講師 フリーアナウンサー 水島知子氏

演題 「ヨガと健康」

2) 同期会

日時 令和7年11月24日(月・振) 12:30~15:00

対象 卒後10年(2015年度卒)・20年(2005年度卒)・30年(1995年度卒)
・40年(1985年度卒)の学年

6. 講習会・研修会(校友会後援)

1) 令和7年度歯科衛生士のための学び直し講座

会場 明倫短期大学

日時 未定

講師 明倫短期大学教員他

内容 検討中

7. 学会(校友会後援)

明倫短期大学学会 第24回学術大会

日時 令和7年11月29日(土)

会場 明倫短期大学

内容 口演・ポスター発表

8. 会報発行

会報「明倫」第 24-1 号・第 24-2 号発行 ホームページ掲載

9. 会員及び準会員活動支援

1) 明倫短期大学学生(準会員)クラブ活動支援

2) 明倫短期大学学生(準会員)明倫祭支援

10. その他

1) 明倫短期大学第 29 回入学式並びに専攻科入学式出席

日 時 令和 7 年 4 月 8 日(火)

2) 明倫短期大学第 28 回卒業式並びに専攻科修了式出席

日 時 令和 8 年 3 月 7 日(土)

第 6 号議案 令和 7 年度 収支予算(案)の承認を求める件

令和7年度 収支予算書(案)

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日
(単位 円)

収入の部

科 目	令和6年度予算	令和7年度予算	備 考
1 会 費 ・ 入 会 金	1,200,000	1,040,000	令和7年度入会者52名 (7年3月卒業)
会 費	600,000	520,000	
入 会 費	600,000	520,000	
2 雑 収 入	50	808	普通預金利息
前 期 繰 越 金	750,732	993,426	
収 入 合 計	1,950,782	2,034,234	

支出の部

(単位 円)

科 目	令和6年度予算	令和7年度予算	備 考
1 事 業 費	415,000	505,000	
広 報 費	15,000	15,000	
組 織 強 化 費	10,000	10,000	支部会経費
準 会 員 支 援 費	10,000	10,000	明倫祭・クラブ活動支援
記 念 品 代	60,000	60,000	卒業・入会記念品
生 涯 研 修 支 援 費	10,000	10,000	
ホ ー ム カ ミ ン グ 事 業 費	310,000	400,000	講演会講師代・消耗品費等
2 会 議 費	225,000	225,000	
総 会 費	200,000	200,000	
役 員 会 費	25,000	25,000	
3 事 務 費	253,000	353,000	
通 信 費	100,000	150,000	ハガキ代等
会 員 調 査 費	3,000	3,000	会員調査
消 耗 品 費	100,000	150,000	コピー・消耗品等
事 務 人 件 費	50,000	50,000	庶務・会計・編集係等日当
4 渉 外 費	150,000	150,000	
慶 弔 費	150,000	150,000	入学式・卒業式生花等
5 管 理 費	50,000	50,000	校友会事務所借用費
6 雑 費	5,000	5,000	郵便局手数料
7 積 立 金	700,000	700,000	
8 寄 付 金	0	0	
9 予 備 費	152,782	46,234	
支 出 合 計	1,950,782	2,034,234	

第 7 号議案 役員改選について

明倫短期大学校友会役員（案）

名誉会長	萬歳英二郎	松橋耕吉		
会 長	関根 明			
副 会 長	本間和代	平澤明美	五十嵐雅子	高橋英子
常任理事	江川広子(会計担当)	渡邊美幸	天池千嘉子	
	井上 篤	牧野真理	計良倫子(会計担当)	
理 事	山内和彦	白田敏之	大西尚之	
	斎藤正徳	唐澤次郎	五十嵐渉	木戸清孝
	藤巻美枝	杉浦貴美子	吉川紀子	三富純子
委 員	小林 梢	伊藤優莉	本田あかり	伊藤成孝
監 事	西山真紗美	安達剛志		

第 8 号議案 校友会日当旅費規定（案）の承認を求める件

旅費・日当他規定（案）2025 年（R7 年 6 月 29 日改定）

【総会・理事会】	日 当	旅 費	合 計	該当地区
新潟市内	—	1,000 円	1,000 円	
下越地区・中越地区 A	—	2,000 円	2,000 円	新発田市、胎内市、阿賀野市、三条市、見附市、燕市
下越地区・中越地区 B	—	3,000 円	3,000 円	村上市、阿賀野市、長岡市
上越地区	—	7,000 円	7,000 円	柏崎市、上越市、糸魚川市、妙高市、魚沼市
佐渡地区	—	5,000 円	5,000 円	佐渡市
新潟県外	—	実 費	実 費	
【講演会など】	日 当	旅 費	合 計	備 考
担当者	2,000 円	総会・理事会に準ずる		弁当・飲料を支給
出張	2,000 円	総会・理事会に準ずる		
【その他】	時 給	日 当	経 費	備 考
会員調査費 A	—	—	5,000 円	卒業生数 50 人未満のクラス → 5 年毎
会員調査費 B	—	—	10,000 円	卒業生数 50 人以上のクラス → 5 年毎
会計監査	—	2,000 円		
委員・理事等	最低賃金	—		会務遂行に伴う

注 1 常任理事会は、日当・交通費は支給しない。

明倫短期大学校友会役員

(令和 7 年 6 月 29 日現在)

名誉会長	萬歳英二郎	松橋耕吉		
会 長	関根 明			
副 会 長	本間和代	平澤明美	五十嵐雅子	高橋英子
常任理事	江川広子(会計担当)	渡邊美幸	天池千嘉子	
	井上 篤	牧野真理	計良倫子(会計担当)	
理 事	山内和彦	白田敏之	大西尚之	
	斎藤正徳	唐澤次郎	五十嵐渉	木戸清孝
	藤巻美枝	杉浦貴美子	吉川紀子	三富純子
委 員	小林 梢	伊藤優莉	本田あかり	伊藤成孝
監 事	西山真紗美	安達剛志		
評 議 員	(S=歯友会歯科技術専門学校卒・M=明倫短期大学卒)			
(歯科技工士)	S3 上杉譲治	S4 青木保博	S5 青山光邦	S8 渡辺幸一
	S11 斉藤正寛	S12 藤原英保	S13 小柳則夫	S14 熊倉喜久夫
	S16 神子和彦	S18 小池 修	S19 五十嵐雅子	S20 鈴木茂之
	S21 小柴俊郎	S23 佐々木聡	S24 神田俊昭	S26 田中道人
	S27 古澤康仁	S28 桂澤尚務	S30 藤井清隆	S31 大森理子
	S32 波多野俊明	S33 高松美剣英	S34 田辺 覚	S35 小海忠志
	S36 石井将也	S37 井上 篤	S38 神田良枝	M1 伊藤圭一
	M2 大沼誉英	M3 内山 淳	M4 渡辺裕士	M5 本田岳史
	M6 金田貴義	M7 五十嵐渉	M8 真島祐太郎	M9 西川 太
	M12 野崎直人	M13 藤田悠哉	M14 古俣友梨奈	M15 辻 義規
	M16 阿部祐輔	M17 笹川 悠	M19 阿部裕也	M20 渡邊朱音
	M21 阿部温知	M22 稻田美月	M23 星野由実	M24 本田あかり
	M25 涌井 陸	M26 伊藤成孝	M27 井沢綸太郎	
(歯科衛生士)	S5 保倉栄子	S7 皆川裕子	S8 浮島勝子	S10 高橋淑子
	S11 横山秀子	S12 保坂智子	S13 花野澄子	S14 藤巻美枝
	S16 鈴木雅美	S17 山口敦子	S18 藤井いずみ	S19 山田智子
	S20 八木恵美	S21 池田千賀子	S22 石黒千代栄	S23 吉川紀子
	S24 池田裕子	S25 樋口直美	S26 高橋純子	S27 高木陵子
	S28 小林 梢	S29 渡部 泉	S30 水橋庸子	S31 古澤抄織
	S32 佐藤裕子	S33 平沢清子	S34 渡邊美幸	S35 斉藤慕子
	S36 小柳淳子	S37 坂上妙子	S38 上原 愛	M1 牧野真理
	M2 生野美絵	M3 田村香菜子	M5 鴨井公子	M6 小野真奈美
	M7 春川麻美	M9 中山 恵	M11 計良倫子	M12 望月千尋
	M15 荻原るりか	M17 松本明日香	M18 金泉由衣	M19 田中優奈
	M20 中島真帆	M21 鈴木 遥	M22 中澤伶映	M23 渡邊 肖
	M24 青木ゆりか	M25 加藤綾華	M26 野田美里奈	M27 深井ことは

明倫短期大学校友会支部及び支部長名簿

(令和 7 年 6 月 29 日現在)

校友会支部	卒業回生	支 部 長	校友会支部	卒業回生	支 部 長
1. 東 北	S 8	宇野 仁示	7. 石 川	S 8	宮島 和行
2. 山 形	S 8	山内 和彦	8. 福 井	S 1 5	上杉 徹
3. 福 島	S 1 1	大沼 淑悦	9. 関 東	S 9	唐澤 次郎
4. 新 潟	S 6	小埜原 進	10. 群 馬	S 2 1	白田 敏之
5. 長 野	S 1 0		11. 東 海	S 1 0	橋本 正雄
6. 富 山	S 2	中川 信良	12. 中 国	S 5	沖田 茂己

IV. その他

7. 閉 会 副会長 高橋 英子



—会員だより—

江川広子先生に名誉教授の称号が授与されました

令和 7 年 7 月 5 日、ANA クラウンプラザホテル新潟において行われた歯友会連合事業団創立 66 周年記念式典に合わせ、沖歯科グループ社員、明倫短期大学教職員出席のもと、明倫短期大学歯科衛生士学科江川広子先生の名誉教授称号授与式が執り行われました。

江川先生は歯友会歯科技術専門学校に 26 年間、明倫短期大学に 27 年間の計 53 年間の長きに亘り、歯科衛生士学科教員として、歯科衛生士教育一筋に邁進されてきました。歯科衛生士の質の向上・発展に寄与するとともに、多くの社会活動を通して地域歯科保健の発展に貢献されてきました。その多大な功績は先の厚生労働大臣表彰、文部科学大臣表彰でも立証されております。また、長年に亘る教育・研究・社会活動の傍ら、新潟大学における学位取得(博士(歯学))の努力が認められ、この度、明倫短期大学名誉教授の称号授与に至りました。誠におめでとうございます。校友会員一同大きな喜びであり、心よりお祝い申し上げます。

在職中は卒業生の就職指導にも情熱を注ぎ、卒業後もその活躍を見守りつつ、いろいろな悩みの相談にも親身に対応し、心のよりどころとなってこられたことは、卒業生の皆さんが最も知るところであります。今後も特任教授として益々お元気で活躍されますよう心よりお祈り申し上げます。

(校友会副会長 本間和代記)



歯科衛生士学科の教員と一緒に

右：江川先生 左：宮崎学長 上中央：本間副会長

<江川先生ご略歴>

- | | |
|-----------------|------------------------------------|
| 1972(S47)年 4 月 | 歯友歯科高等専修学校歯科衛生士科助手 |
| 1998(H10)年 4 月 | 明倫短期大学歯科衛生士学科助手 |
| 1999(H11)年 8 月 | 明倫短期大学歯科衛生士学科講師 |
| 2004(H16)年 4 月 | 新潟大学大学院医歯学総合研究科入学 |
| 2008(H20)年 3 月 | 新潟大学大学院医歯学総合研究科修了 学位取得 新潟大学 博士(歯学) |
| 2008(H20)年 4 月 | 明倫短期大学歯科衛生士学科准教授 |
| 2015(H27)年 10 月 | 明倫短期大学歯科衛生士学科教授 |
| 2025(R7)年 4 月 | 明倫短期大学特任教授(現在に至る) |
| 2025(R7)年 4 月 | 明倫短期大学名誉教授 |

〈クラス会だより〉

— 卒業後 50 年が経って —

歯友会歯科技術専門学校 歯科技工士科 16 回生



令和 7 年 10 月 5 日に一泊二日で、群馬県利根郡みなかみ町猿ヶ京温泉にて、同級会を開催しました。卒業して 50 年が経ちましたが、現役で歯科技工の仕事に従事して頑張っている人もいます。宴会後も部屋に集まり、学生時代の写真を見て思い出話に花が咲き、楽しい時間を過ごしました。また元気で皆さんとお会いできることを楽しみにしています。幹事の木股さん、お疲れ様でした。



(歯友会歯科技術専門学校 歯科技工士科 16 回生 五十嵐文裕記)

— 学校だより —

明倫短期大学スポーツフェスティバル 2025 開催！

2025 年 5 月 31 日 (土)『明倫短期大学スポーツフェスティバル 2025』が開催されました。雨が降り出しそうな天候だったため、学科別クラス対抗綱引き大会を行いました。明倫恒例の綱引き大会は今年も大盛り上がりでした。併せて地域のこどもたち向けに縁日コーナーがあったり、キッチンカーを利用できたりと学校生活のなかでも思い出に残る楽しい 1 日となりました。

(歯科衛生士学科 講師 渡邊美幸記)



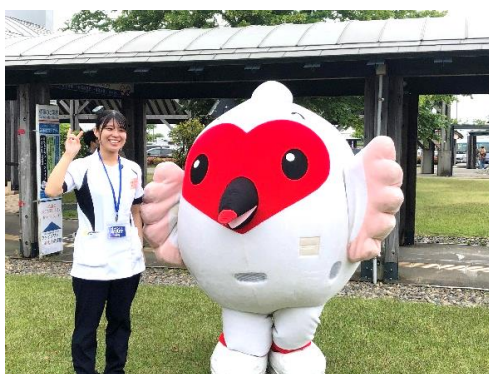
縁日コーナーで楽しむ子供たち



「歯と口の健康フェア 2025」に参加

歯と口の健康週間にあわせ、6月1日(日)新潟市歯科医師会主催の「歯と口の健康フェア 2025」が新潟ふるさと村で開催されました。このイベントは歯科関係団体・養成機関をはじめ栄養士会、薬剤師会、新潟市保健所などの団体が参加し、お口の健康を守るための啓蒙活動を目的に行われました。本学は、歯科技工士、歯科衛生士の両学科学生が参加し、金属研磨や模型を使用した口腔内観察を数多くの市民に体験してもらいました。また、私たち歯科技工士や歯科衛生士が使用している器具に触れてもらうことにより、職業の認知にも繋がったと思われます。イベントを通して幼児から高齢者まで幅広い年代の方たちとの交流や他職種との連携は、学生たちにとっても大きな学びとなりました。また、会場に足を運び、声を掛けていただいた校友会員のみなさまに感謝申し上げます。

(歯科衛生士学科 助教 天池千嘉子記)



学生さんがトッキッキとイベント告知



参加した学生さんと教員と一緒に



はじめて新潟まつりに参加して



令和 7 年 8 月 8 日（金）に開催された新潟まつり大民謡流しに、明倫短期大学として教職員学生総勢 22 名が参加してきました。新しい法被に身を包み、うちわを揃えての初参加です。

当日までに 3 回の練習会があり、2 回 3 回と練習が進むうちに、踊りも軽やかになって、当日を迎えました。踊りの合いの手には“歯が大事！！”と明倫らしく歯の大切さも PR してきました。踊りの最中では声をかけてくれる卒業生などもおりました。

今回は初めての参加ということもあり、踊りの輪は小さかったのですが、来年度はより大きな明倫の輪となり、笑顔満々な民謡流しになればと思います。

（歯科衛生士学科 助教 高橋明恵記）





日本デンタルショー2025 in 横浜

歯科技工士学科専攻科生体技工専攻 1 年 石川みそらさん
デジタルカービングコンテスト 学生部門で 1 位 受賞

歯科技工士学科卒業生 大井川紗英さん
チャレンジ講演会技術・学術部門で最優秀賞 受賞

令和 7 年長月下旬の 26 日（金）・27 日（土）・28 日（日）の三日間、暑が続く横浜市みなとみらいのパシフィコ横浜を会場に、日本最大の日本デンタルショー2025 がこちらも熱気溢れるなか盛大に開催された。また、期を同じくして第 25 回日本歯科医学会学術大会もパシフィコ横浜会議センターで開催されたことで、会場付近の人出は新潟暮らしの私にとってエキサイティングな時間だった。

そのデンタルショーの中で日本歯科技工所協会（木村正会長）主催のイベントが 3 つ企画され、その中の 2 部門がコンテストを呈し明倫短期大学に關係する女性 2 名が 1 位を受賞した。

先ず一つは、歯科技工業界に多くの話題を提供している D-Sports®(デジタルカービングコンテスト) 学生の部である。本学専攻科生体技工専攻 1 年の石川みそらさんが見事 1 位に輝いた。競技に取り組む参加者のモニターは、会場内にもリアルタイムにモニタリングされるため、観戦した私は石川さんのマウスとキーボードから繰り出すデジタルカービングを見て、並み居るライバルに圧倒的な差を付けて勝ち取った結果なのだと実感した。

もう一つはチャレンジ講演会の技術・学術部門で最優秀賞を受賞した大井川紗英さんである。大井川さんは本学を平成 31 年に卒業し、現在は千葉県の株式会社協和デンタルラボラトリー新松戸に勤務している。受賞した演題は「カスタムヒーリングアバットメントを活用した歯肉マネジメント」である。大井川さんが普段からインプラント技工に携わる中で、予知性の高い歯肉マネジメントを歯科技工の立場から海外の参考文献も引用しながら、エビデンスに基づく高度で臨床に即した内容を発表された。卒業生の大きな成長に胸が熱くなった。

他にも受賞には届かなかったが D-Sports®部門とチャレンジ講演会部門で果敢に挑戦した本学の卒業生がいたことを是非付け加えたい。

今回の日本デンタルショー2025 のイベントでは、明倫短期大学の存在が大きくクローズアップされたのではないだろうか。これからも本学学生と卒業生が歯科医療の現場で大いに活躍されることを期待すると共に応援していきたい。

受賞した石川みそらさんと大井川紗英さん本当におめでとうございます。

（歯科技工士学科長 教授 飛田滋記）



右：歯科技工士学科専攻科生体技工 1 年
石川みそらさん



歯科技工士学科 21 回生
大井川紗英さん



～歯科衛生士学科 2025 年度戴灯式を執り行いました～

令和 7 年 9 月 29 日(月)に歯科衛生士学科 2 年生の戴灯式を執り行いました。10 月から始まる臨地実習・臨床実習に臨むにあたり、医療従事者としての意識を高め、その心構えを再確認するために行われるセレモニーです。学生たちは学長先生の訓示を胸に、決意を新たにし、1 年間の臨地実習・臨床実習のスタートを切りました。

(歯科衛生士学科 講師 渡邊美幸記)



歯科衛生士学科 2 年生 臨地実習・臨床実習への新たな決意を抱いて

令和 7 年度新潟県補助事業

「新潟県内歯科企業を知る見学バスツアー」 報告

〈歯科衛生士学科〉

令和 7 年 10 月 2 日（木）に私たち歯科衛生士学科 3 年生は、県内企業見学でクラレノリタケデンタル株式会社の新潟工場に伺いました。社員の方から会社の成り立ちやどのようなものを作っているのか、出荷先などのお話を伺いました。工場では、接着セメントやコンポジットレジン（コンポジット）の製造を見学させていただきました。印象に残っていることは、練和の部分でレジンやセメントが照明によって硬化しないように照明が黄色になっていたことです。社員の方がとても親切で、私たちの質問にも丁寧に答えてくださり、皆さんが仕事や製品を大切にしていることが伝わってきました。歯科衛生士を目指す私たちにとって実際に材料が作られている過程を見ることができてとても貴重な経験となりました。

バスツアー中に、いちごカンパニースイーツラボと道の駅加治川に寄りました。胎内市の自然いっぱいの中で食べるいちごのスイーツは、とてもおいしかったです。一年間の実習を終えた私たちにとって、有意義な 1 日になりました。

（歯科衛生士学科 3 年 野沢楓香記）



クラレノリタケデンタル新潟工場にて



いちごのスイーツで休憩

皆様の氏名・住所等に変更が生じた場合は、事務局へ必ずご連絡ください。

【連絡方法】
電話 025-232-6351 または、明倫短期大学ホームページの「お問合せ」にご連絡ください。

第 23-12 号に引き続き第 24-1 号を発行いたしました。今回は 10 月末までの記事を掲載いたしました。11 月以降の記事は次号に掲載いたします。ホームカミングや学生さんのご活躍、卒業式など掲載予定ですので、是非、ひとりでも多くの会員にご一読していただきたいと思います。

急に寒くなってきましたが、会員の皆様には、お忙しい年末を前にお身体に気を付けてお過ごしください。

皆様の活動や趣味、同級会等の情報も掲載したいと思えます。事務局までどうぞご連絡ください。

【編集担当】
五十嵐 雅子
本間 和代
渡邊 美幸

編集後記

